

特別会計

特定の事業を行うため一般会計と分けて経理をしている10の特別会計は、全て黒字となりました。

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険事業特別会計	52億9,257万円	51億2,466万円	1億6,791万円
後期高齢者医療事業特別会計	3億7,121万円	3億7,036万円	85万円
介護保険事業特別会計	33億8,363万円	33億5,165万円	3,198万円
社会就労センター事業特別会計	8,357万円	8,356万円	1万円
倭財産区事業特別会計	216万円	191万円	25万円
永田財産区事業特別会計	51万円	24万円	27万円
中野財産区事業特別会計	207万円	203万円	4万円
情報通信施設事業特別会計	4,568万円	4,122万円	446万円
下水道事業特別会計	18億7,871万円	18億5,219万円	2,652万円
農業集落排水事業特別会計	7億4,160万円	7億1,365万円	2,795万円

企業会計

企業会計は、独自の収入でその経費をまかなう独立採算を原則とする会計で、本市では水道事業会計が該当します。

水道事業会計	収入	支出	収支
収益的支出	9億108万円	7億7,842万円	1億2,266万円
資本的支出	1億5,643万円	7億4,834万円	△5億9,191万円

※収益的支出は1億2,266万円の黒字となりました。

※資本的支出の収支不足額5億9,191万円は、過年度分損益勘定留保資金1億7,206万円、当年度分損益勘定留保資金2億4,168万円、建設改良積立金1億6,000万円および当年度分消費税等資本的収支調整額1,817万円で補てんしました。

財政状況をチェック



基金残高は？

基金は、市の貯金に当たるものです。

一般会計と社会就労センター事業特別会計、情報通信施設事業特別会計を合わせた普通会計の平成23年度末基金残高は、96億6,183万円、前年度末に比べ7億3,467万円の増加となりました。予算執行時の歳出削減や財源確保に努め、基金残高を確保しています。

市債残高は？

市債は、市の借金に当たるものです。

本市の全会計の市債残高は、460億806万円、前年度末に比べ11億1,269万円の減少となりました。市債の借入れに当たっては、地方交付税措置がある有利な市債を借入れるとともに、借入額を償還額以内に抑えることで市債残高の縮小に努めています。

財政は健全？

自治体の財政状況を判断する基準として健全化判断比率を公表しています。本市は、いずれの指標も早期健全化基準を下回っていません。

普通会計基金残高 (平成23年度末現在)	
財政調整基金	20億6,550万円
減債基金	11億350万円
公共施設等整備基金	37億7,209万円
その他基金	27億2,074万円
合計	96億6,183万円

市債残高 (平成23年度末現在)	
一般会計	185億7,315万円
下水道事業特別会計	154億3,511万円
農業集落排水事業特別会計	75億591万円
水道事業会計	44億9,389万円
合計	460億806万円

指標	内容	中野市	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字率	普通会計の赤字の割合	—*	13.02%	20.0%
連結実質赤字率	全ての会計の赤字の割合	—*	18.02%	30.0%
実質公債費比率	年間の借入金返済額の割合	10.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	将来負担が見込まれる借入額の割合	7.8%	350.0%	

※実質赤字額、連結実質赤字額がないため「—」と記載しています。